



発行日2017. 3. 1

生活クラブ連合会
TEL:03-5291-6700
FAX:03-5285-1839

★夢都里路クラブの援農で伝統文化や農家の暮らしに触れることができます！ 参加された方の感想です

●「想像していたより、ずっと下準備が沢山！」（お正月の定番しめ飾りづくり；JA加美よつば）

・座っての作業でしたので、作業をしながらお話がいろいろ伺え興味深かったと同時に地域の皆さんの繋がりを感じました。イナゴの佃煮から始まった提携当時のお話も。また今回のお飾りの組み立て作業に入るまでの下準備が想像以上にいろいろあることも知りました。ダイダイの生産地視察や男性陣が山に入って、ヒバを軽トラック5台分も採取したり、稲わらを干すタイミングのことや柔かいモチ米の藁が用いられていること等々・・・見えないプロセス、皆さんの長年の工夫・ご苦労が積み重なってかたちになっていることを実感。また神事にかかわる藁は左巻きになう等、伝統文化に係わる知識も知りえました。2日めに伺った作業場はあの震災で崩れた壁が一部修理がされずシートで補ったままの作業場でした。手伝いに来られた方がそれを見て玉ねぎハウス用に使っている資材を転用すると更に暖かいよ、と助言されていたのが印象的でした。共同の作業場ではお漬物など一品持ち寄り休憩のお茶の時間・・・この様にして皆さんが多岐に亘って繋がりをもたれているのですね。（埼玉、60代女性）



●「こんなに大切に丁寧に、手をかけて野菜を作ってくださいましたのか！」（作りまわしの現場探訪；ながさき南部生産組合）

・ミニトマト、春菊、スナップエンドウの管理や収穫をしました。安心安全な野菜を作っている産地・農場をこの目で見るのが、また何より、その野菜を作るために生産者の皆さんが、大変な労力をかけてくださっていることを知ることができたのが収穫でした。

体の芯から凍える寒い日も暗いうちから収穫する。生産者の皆さんは朝から晩まで1日中、飛び回るように忙しかつ懸命に働いておられました。ハウスの暖房設備を自分たちで手作りするなど、農業の枠を超えた様々な作業もすべてこなされており、一体いくつの職業を兼ねているのかと思いました。スナップエンドウのつるが巻きつくための支柱を立て、さらに支えとなる紐を上にと張り巡らし、一つ一つをひもで結んでいく。日が差し、気温が上がればハウスの屋根を開け、気温が下がれば閉めてやる。すべては野菜が少しでも成長しやすいように、少しでも負担をかけないようにと行われていました。



こんなに大切に丁寧に、手をかけて野菜を作ってくださいましたのかと驚き、感謝です。これからは野菜を食べる前に、作ってくれた生産者に「ありがとう」と拝みたい！海と山に囲まれ、美味しい魚や野菜・果物がとれる南島原にしばらく住んで、畑仕事を手伝うのもいいかもしれないと思いました。（東京、30代女性）

★夢都里路クラブフェア盛況に開催しました



スリーエイトのブース はちみつの味見

「もっとたくさん話を聞きたかったです！」

♥東新宿で開催された春の夢都里路クラブフェアには40人が集まり、全体説明の後、生産者のブースをまわりました。

全体会では、牛乳生産日本一の北海道別海町、中春別農協の河合さんから、北海道での酪農の様子や、牛肉と牛乳が深い関係にあるという話と、今春に農協出資の「中春別未来牧場」を建設して後継者を自ら育成していく、という意気込みが報告されました。

生産者ごとのブースでは、試食や、はちみつのなめ比べなど楽しいブースとなり、企画の詳しい説明や、産地の様子が聞け、たくさん笑顔にあふれたフェアとなりました。

♥春夏企画の応募受付中です！企画参加を希望される方は、夢都里路クラブ事務局までお早目に。



庄内みどりのブース

企画への申込は、夢都里路クラブ TEL:03-5291-6700 まで（電話番号変わりました）

次号発行予定 3/20ごろ